

令和7年5月7日(水)

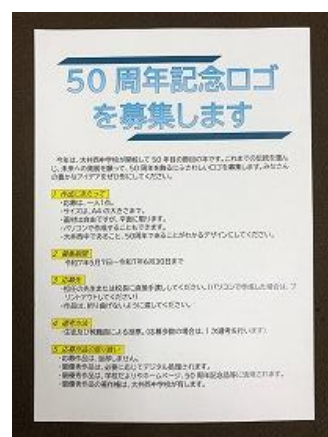
50th
ANNIVERSARY



ゴールデンウィークは、ご家族で楽しい休日を過ごされたことと思います。今日からまた学校が再開します。どうぞよろしくお願いいたします。廊下の掲示板には、体育祭に向けた大きな掲示物が張られていました。プログラムも公開され、生徒たちの関心を惹きます。担任が作成している学級通信も、大縄跳びでの生徒の様子を伝えるなど、体育祭に関する内容が多くなってきました。体育祭と合唱祭は、中学校における二大行事です。どちらも生徒主体で練習や諸準備を進めるので、様々な場面で生徒一人一人及び集団としての成長が見られます。



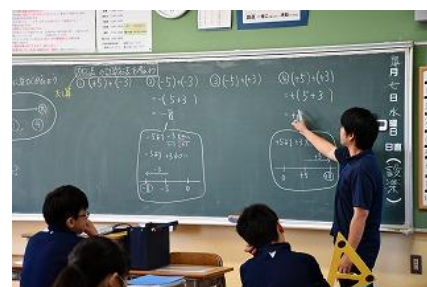
先日の学校朝会で生徒たちにお願ひした 50 周年記念ロゴの作成ですが、本日全生徒に募集チラシを配付しました。大井西中の伝統を重んじ、未来への発展を願って、50 周年を飾るにふさわしいロゴを募集します。生徒たちの豊かなアイデアをぜひ形にしたいと思います。募集期間は、本日から 6 月 30 日まで。一人 1 点まで応募できます。平面であれば、紙でもデジタルでも OK です。応募多数の場合は、1 次選考を行った後、生徒及び教職員による投票で最優秀賞を決定します。最優秀作品は、学校だよりやホームページ等で活用する予定です。



3 年生の技術科では、情報の技術としてテキストコーディングによる WEB サイトを作成します。プログラミングによる問題解決をねらいとしています。ここで活用しているのは、ライフ・イズ・テック・レッスンというデジタル教材です。Society5.0 を見据えた情報活用能力を育成するには、正しい知識と技能が必要不可欠です。自分が中学生の頃は、技術科と言えば木工と金工、そして農業技術でした。もちろん、これらは現在でも技術科の大切な内容ですが、様々な教科がある中で、技術科ほど内容の進歩が著しい教科はありません。社会の進歩と変化に一番敏感な教科といえます。



1 年生が数学の授業で正負の数の加法・減法を学習していました。小学校算数と中学校数学の大きな違いの一つとして負の数の登場があります。「-」は、小学生にとっては、ひき算における演算記号でしかありませんでしたが、中学校では、演算 (operation) と符号 (symbol) の二つの意味を持つようになります。それにより、 $5 - 3$ といったひき算は、 $(+5) + (-3)$ ようにたし算で表現します。負の数の導入により演算の概念が拡張する場面なので、授業は丁寧に進めています。



明日は、校長が出張のため、「WEST LIFE 校長の目」はお休みします。